



物流ニッポン

2008年(平成20年)

9 | 29 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3167号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

海外拠点拡充の動き(08年6月以降)

6月	<ul style="list-style-type: none"> ● ベルギー支店のアントワープ海上貨物事務所を拡張・移転 ● インドのチェンナイ支店を拡張・移転
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● インドのバンガロールで新倉庫稼働に伴いロジスティクス事業開始 ● インド北東部のコルカタ、中部内陸部のハイデラバードに駐在員事務所を開設(インド国内7か所体制に)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● インドのデリーで大型倉庫が稼働し、ロジスティクス事業開始 ● フィリピンの北ラグナに事務所の開設とともに新倉庫稼働でロジスティクス事業開始
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● メキシコのモンテレーで駐在員事務所を拡張・移転 ● 米国テネシー州ナッシュビル営業所を拡張・移転。新倉庫も拡充

でも英国では現法の英国郵船航空がロンドンの西

【高木明】郵船航空サービスは海外市場での売上高拡大に向け拠点整備・拡充を加速させる。米国現地法人の米国郵船航空サービスではメキシコのモンテレーに駐在員事務所を開設したのに引き続き、十九日には米国テネシー州で大型倉庫を確保し、業務を本格的に開始。さらに、アジア地域および英国で物流全般を一括して請け負うロジスティクス事業の強化体制を相次いで整えた。現在もアジア地域を中心に拠点拡充の計画を持ち、年度内にはあと三、四か所の拠点が本格稼働する見通し。

郵船航空

海外拠点の拡充加速

ロジスティクス事業強化

米国郵船航空は一日、一に位置するスウィンドロ
米国の国境に近いメキシコ
コ・モンテレーに駐在員二・五倍に拡張し、欧州
事務所を開設した。米墨
クロスボーダー物流の基
点となっており、自動車
部品関連を中心としたロ
ジスティクス事業をサポ
ートする。さらに、米国
テネシー州では自動車お
よび関連部品の生産拠点
になっているナッシュビ
ルの営業所を拡張・移転
し、新たに保管施設も確
保、米墨工場間の陸上輸
送の利便性を高めた。

郵船航空サービスでは
ことし四月から向こう三
か年の中期経営計画「Y
ASファイブスター・プ
ロジェクト」をスタート
させた。同計画では中国
を中心としたアジア全域
および米国地域でのシエ
ア拡大、さらにロジステ
イクス事業の強化などを
重点施策として挙げて取
り組む。同社では「検討
中のもも含めると拠点
拡充は十か所以上になっ
ている。年度内には最低
拠点が完成、事業開始し
ていく」(IR広報室)

でも、あと三、四か所の
拠点が完成、事業開始し
ていく」(IR広報室)